

平成 27 年度 1 回福岡市開発審査会会議録

開催日	平成 27 年 4 月 24 日 (金) 午後 4 時 00 分から 午後 5 時 10 分まで	場所	15 階 1505 会議室
出席者	委員	多賀直恒 (会長)、千綿俊一郎、井原隆博、柴田節子、川上陽平、萩島理、田中昭代	
	福岡市	碓部長、梅崎課長、渡邊係長、岡田係長、松尾卓哉	

凡例：以下において、○は委員、△は福岡市職員の発言を示す。

第 1 号議案

〈医療施設〉

(質疑応答)

- 開発区域は既存部分も含むのか。
- △ 敷地の一体性があるため含む。
- 敷地増しとなるため審査会附議になるのか。
- △ はい。敷地増しとなる箇所が農地であるため、開発許可となる。
- アルコールデイケアは精神疾患患者のための施設であり、一般の方は対象としていないのか。
- △ アルコール依存症の方が対象となっている。
- 既存施設の一つのサンカフェとはどういったものか。
- △ 申請者が設立母体となった社会福祉施設で作られたパンを販売しており、関連法人である申請者が所有する土地において、営業しているものであり、病院敷地と一体的に利用しているため、今回開発区域の範囲内としている。

(採決)

- 承認する。

第 2 号議案

〈相当期間適正に利用された建築物の用途変更〉

(質疑応答)

- 売買を検討されているのか。検討している場合買い手はいるのか。
- △ 売買を考えてあり、買い手もいると聞いている。
- 子供と連絡が取れないことが、審査上何か影響があるのか。
- △ 子供がこの住宅に居住することができれば属人性の解除をする必要がないためである。

(採決)

- 承認する。

第 3 号議案

〈その他のもの〉

(質疑応答)

- 下水道は整備されていないのか。
- △ 水路挟んで南側道路には整備されているが申請地が接続している道路には整備されていない。また、整備されている汚水本管には勾配がのらないため浄化槽を設置する計画である。
- 孫を世帯構成員として認められるのか。
- △ 12 号条例の規則では世帯構成員であった者の世帯構成員は認めている。
- 第 3 者からの贈与ではなく、親からの贈与なので、実質相続とみなしていいと考える。
- 周辺は市街化区域となっており市街化が進んでいるが、区域の変更は行わないのか。
- △ 市街化区域への編入は、基本的に区画整理事業などのまちづくりの実施が条件となる。今回地域は諸事情により市街化調整区域として残っている。

(採決)

- 承認する。